

PICK UP PLAYER INTERVIEW

インタビュー・文：五味亜矢子

得点はもちろんアシストも意識して！

藤井 貴之（日本体育大学）FW/4年

今年が目標だった1部昇格と優勝が決まりましたが、前期の貯金が大きかったのが一番のポイントでしたね。後期は相手対策してくるだろうという話はしましたが、それ以上にみんな、自分たちのサッカーを貫き通したという感じがして、2位と差が開いていて気持ち的に余裕はあったんですけど、上がない分、周りの結果を気にせず自分たちが一つひとつ勝てばいいという感じで、自分たちの結果だけにこだわってやりました。前期に比べて後期は1年生が多く絡んで層が厚くなったので、ケガ人が出ても対応できるという強みもできました。

今年は僕らが1年生の時に教わった鈴木政一監督が戻ったのですが、契約の関係で3月の頭からの合流でした。1カ月でチームを仕上げるっていうのは正直大変だったけれど、鈴木監督の指導を知っている4年生が下の学年に教えるということが役目かなと思ってやってきました。今年の強さは、得点を取っている選手が一人だけじゃないことかな。今年の日体は、僕であったり右の川戸（大樹・3年）や左の高井（和馬・3年）だったり、途中から出てくる選手も取れますし、そういうところが去年とは違うと思っています。毎試合、点を取れる自信はありますし、立ち上がりの15分や後半始めの15分の間には1点2点決めようっていう話をされていて、みんなの共通意識が得点につながっていると思います。

自分自身のプレーでは、裏への抜け出しと、大事なところで決められる自信と……あと自分のマークが厳しくなった時にはチームのために、周りを使うっていうところは意識していますね。もちろん点に絡むこと、得点だけでなくアシストも意識してやっています。後輩からは、多分ですけど怖がられているんじゃないかな（笑）。僕は普段あまり言葉で言わないので、本当にチームとしてまとまろうっていう時とか大事な時には言いますけど。チームのキャプテンはGKの伊藤幹人ですけど、ゲー

ムのキャプテンはチーム方針でボランチがやるので、そこは学年は関係ないんです。

4年間やってきて成長したのは、やっぱりメンタル面ですね。日体って部員が多いので、1年生の時から試合に出させてもらうというのは正直、メンタル的にきつかったです。その時は4年生やほかのカテゴリーの選手から多々言われたり。大事なチャンスを決めきれなくて、みんなを代表して出ているのに申し訳ないなって悔しい部分もあった。上の学年がいる中でやって、メンタル面で強くなれたし、今は4年なのでもた違う責任も感じています。試合に出ている11人は日体の代表なので、責任と誇りを持ってやるっていう、その忍耐の強さは一番成長したかな、と思いますね。今はケガを減らして、出場は自分の身体と監督に相談して決めますが、残り試合では卒業後もサッカーを続けるためのアピールもしたいと思っています。



JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

Division2 No.21

発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：五味亜矢子・関東大学サッカーサポーターズクラブ

得点ランキング		アシストランキング		前節(第20節)の結果	
13点	遊馬将也(東洋大学)	9アシスト	木村魁人(関東学院大学)	東京国際大学	1-1 拓殖大学
12点	中野誠也(筑波大学)	9アシスト	仙頭啓矢(東洋大学)	東京学芸大学	3-4 日本大学
12点	五十嵐亘(東京学芸大学)	9アシスト	金秀勇(朝鮮大学校)	関東学院大学	3-0 東海大学
11点	高井和馬(日本体育大学)	8アシスト	高野遼(日本体育大学)	筑波大学	7-0 産業能率大学
11点	萱沼優聖(関東学院大学)	7アシスト	萱沼優聖(関東学院大学)	東洋大学	2-0 朝鮮大学校
11点	仙頭啓矢(東洋大学)	7アシスト	金成純(朝鮮大学校)	日本体育大学	1-2 青山学院大学
以下9点2名		以下6アシスト3名			

順位	対日体	対筑波大	対関学大	対東洋大	対青学大	対朝鮮大	対東学大	対東海大	対拓大	対東国大	対産能大	対日大	勝	負	分	得点	失点	得失差	勝点
1	日体大	1 0 0	2 0 1	2 0 0	3 0 1	2 0 1	2 0 0	1 0 0	2 0 1	3 0 0	4 0 1	5 0 0	16	3	1	47	17	30	49
2	筑波大	0 0 1	3 0 4	1 1 1	3 0 1	4 0 2	0 0 1	2 0 1	4 0 0	5 0 2	5 0 1	4 0 2	13	4	3	47	22	25	42
3	関学大	1 0 2	4 0 3	3 0 1	5 0 2	1 0 0	5 0 4	3 0 1	1 0 2	1 0 0	2 0 1	3 0 0	13	5	2	46	27	19	41
4	東洋大	0 0 2	1 1 1	1 0 3	4 0 0	0 0 2	1 1 1	7 0 1	2 0 1	0 0 0	4 0 1	4 0 0	12	5	3	40	19	21	39
5	青学大	1 0 3	1 0 3	2 0 5	0 0 4	3 0 3	1 0 0	2 0 1	1 0 1	0 0 3	2 0 0	4 0 1	9	8	3	33	38	-5	30
6	朝鮮大	1 0 2	2 0 4	0 0 1	2 0 0	3 0 3	0 0 0	0 0 0	2 0 1	3 0 3	0 0 0	1 0 1	7	6	7	33	31	2	28
7	東学大	0 0 2	1 0 0	4 0 5	1 0 1	0 0 1	0 0 0	1 0 0	3 0 0	2 0 0	2 0 2	2 0 1	7	9	4	29	27	2	25
8	東海大	0 0 1	1 0 2	1 0 3	1 0 7	1 0 2	0 0 1	2 0 2	0 0 3	2 0 0	0 0 3	2 0 0	6	12	2	20	39	-19	20
9	拓大	1 0 2	0 0 4	2 0 1	1 0 2	1 0 1	3 0 3	2 0 2	0 0 2	0 0 2	0 0 1	1 0 1	4	9	7	26	36	-10	19
10	東国大	0 0 3	2 0 5	0 0 1	0 0 0	3 0 0	0 0 0	0 0 2	3 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 4	5	11	4	18	28	-10	19
11	産能大	1 0 4	1 0 5	1 0 2	1 0 4	0 0 2	1 0 1	2 0 2	0 0 2	0 0 2	4 0 2	1 0 1	3	13	4	27	53	-26	13
12	日大	0 0 5	2 0 4	0 0 3	0 0 4	1 0 4	0 0 3	1 0 0	0 0 1	1 0 1	0 0 1	1 0 1	3	13	4	15	44	-29	13

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



11月7日(土) 11:30Kick off
Shonan BMW スタジアム平塚

東海大学 現在 **8** 位
出場停止 なし
警告 3回 なし

VS (前期の対戦:東海大 1-0 日大)

日本大学 現在 **12** 位
出場停止 なし
警告 3回 成瀬琢斗

11月7日(土) 11:30Kick off
龍ヶ崎市陸上競技場たつこのフィールド

日本体育大学 現在 **1** 位
出場停止 なし
警告 3回 ンドカ ポニフェイス

VS (前期の対戦:日体大 1-0 筑波大)

筑波大学 現在 **2** 位
出場停止 なし
警告 3回 なし

11月7日(土) 11:30Kick off
江戸川区陸上競技場

東洋大学 現在 **4** 位
出場停止 なし
警告 3回 なし

VS (前期の対戦:東洋大 0-0 東国大)

東京国際大学 現在 **10** 位
出場停止 なし
警告 3回 桶谷亮太、條洋介

11月7日(土) 11:30Kick off
東京学芸大学グラウンド

朝鮮大学校 現在 **6** 位
出場停止 なし
警告 3回 韓浩康、安泰永、慎篤紀

VS (前期の対戦:朝鮮大 3-3 拓大)

拓殖大学 現在 **9** 位
出場停止 なし
警告 3回 菅谷政博

11月7日(土) 13:50Kick off
東京学芸大学グラウンド

関東学院大学 現在 **3** 位
出場停止 なし
警告 3回 普光院誠

VS (前期の対戦:関学大 5-4 東学大)

東京学芸大学 現在 **7** 位
出場停止 富澤右京
警告 3回 南直志

11月8日(日) 11:30Kick off
県立保土ヶ谷公園サッカー場

青山学院大学 現在 **5** 位
出場停止 なし
警告 3回 瀬川泰樹

VS (前期の対戦:青学大 2-0 産能大)

産業能率大学 現在 **11** 位
出場停止 なし
警告 3回 なし

PICK UP MATCH

青山学院大学 対 産業能率大学

1年を通して戦ってきた「JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦」も残すところあと 2 試合となった。

前節の第 20 節では、残り 1 枠となった 1 部リーグ昇格権を獲得するため、2 位・筑波大学の攻撃陣が爆発。FW 中野誠也(2 年)、FW 若杉拓哉(4 年)がハットトリックを達成し、産業能率大学を 7-0 の大差で下した。一方、3 位関東学院大学は横浜 FM に内定している FW 富樫敬真(4 年)の得点を含めた 3-0 で東海大学に完勝。東洋大学は朝鮮大学校に 2-0 で勝利を収め、どの大学も 1 部昇格に向けて、一歩も譲らない争いを繰り広げた。

東京学芸大学と日本大学との一戦は、前半、FW 五十嵐亙(4 年)の 2 得点などで東学大が健闘するも、負ければ降格が決まる日大が猛追。終了間際の 87 分に MF 高山慎也(4 年)が決勝点をあげ、4-3 で日大が勝利。これで 2 連勝の日大は勝ち点を 13 に伸ばし、関東リーグ残留に向けて追い上げをみせた。昇格争い同様、残留争いも熾烈な戦いを展開している。

そんな中、今節のカードで注目したいのは、2 部優勝を決めている日本体育大学を相手に前節の試合で勝利した 5 位の青山学院大学と、残留に向けて待ったなしの状態となつて

いる 11 位産業能率大学の試合だ。

青学大は 2 試合連続でゴールを決め、ゲームキャプテンとしてもチームを鼓舞している MF 荒木大吾(4 年)の活躍に期待がかかる。すでに昇格、降格とも関係のない順位にある青学大だが、来季に向けた試合という意味でも、MF 小泉佳徳(1 年)、MF 森孝輔(1 年)といった若手の活躍にも注目したい。

対する産能大は前節で筑波大に 7-0 と大量得点を許してしまい、残留に向けて大きなダメージを負った。3 連敗で勝点でも最下位の日大に並ばれてしまった産能大は、関東リーグ残留のために負けはひとつも許されたい。昨年、産能大は最終節に驚異の粘りを見せて残留を決めている。この一戦も残留に向けて、強い気持ちを持って試合に臨んでくるに違いない。9 位の拓殖大学、10 位の東京国際大学が引き分け以上の結果になると、産能大と日大は自動的に降格が決まる厳しい状態に追い込まれている。しかし青学大戦に勝利し、奇跡の残留につなげたいところだ。

泣いても笑っても残留の試合はあと 2 試合。1 部リーグ昇格、関東リーグ残留のために、そして個人、チームとして様々な気持ちが入った熱い試合から目が離せない。

平成 27 年度 第 48 回関東大学サッカー一大会<予選> 試合結果

予選リーグ第 1 試合(10/31)	A	チーム名	上武大	東農大	横浜市立大	城西大	勝	分	負	得点	失点	得失	勝点
【A ブロック】 上武大学 0(0-1)4 東京農業大学 横浜市立大学 1(0-2)2 城西大学	A	上武大学		0 ● 4			0	0	1	0	4	-4	0
	B	東京農業大学	4 ○ 0				1	0	4	0	4	3	
	C	横浜市立大学				1 ● 2	0	0	1	2	-1	0	
	D	城西大学			2 ○ 1		1	0	0	2	1	1	3
【B ブロック】 明治学院大学 2(0-1)2 中央学院大学 立正大学 4(2-0)0 防衛大学校	B	明治学院大学		2 △ 2			0	1	0	2	2	0	1
	C	中央学院大学	2 △ 2				0	1	0	2	2	0	1
	D	立正大学				4 ○ 0	1	0	0	4	0	4	3
	E	防衛大学校			0 ● 4		0	0	1	0	4	-4	0

NEXT MATCH

11/14 (土)	拓殖大学 vs 東海大学 日本体育大学健志台キャンパスサッカー場 11:30Kickoff	11/14 (土)	日本体育大学 vs 関東学院大学 日本体育大学健志台キャンパスサッカー場 13:50Kickoff
11/14 (土)	東京国際大学 vs 青山学院大学 東京国際大学第一サッカー場 11:30Kickoff	11/14 (土)	筑波大学 vs 東洋大学 東京国際大学第一サッカー場 13:50Kickoff
11/14 (土)	産業能率大学 vs 日本大学 産業能率大学第 2 グラウンド 11:30Kickoff	11/14 (土)	東京学芸大学 vs 朝鮮大学校 産業能率大学第 2 グラウンド 13:50Kickoff